

第2回 昭島市公民館運営審議会記録

令和2年11月13日

午後18時30分～

第2会議室（3階）

（出席者）山崎会長、大串副会長、星野委員、佐々木委員、井ヶ田委員、宮里委員
三木委員、菅原委員、久保委員、高橋委員
（事務局）吉村館長、遠藤事業係長、山本管理係長

1, 会長、館長挨拶

2, 第1回定例会記録の確認

3, 報告事項

（1）東京都公民館連絡協議会委員部会について

【委員】

- ・東京都公民館連絡協議会委員部会研修会を10月24日に小平市中央公民館で行った。
- ・東京都公民館連絡協議会委員部会研究大会の集会を11月25日に行う。国立市と町田市におけるコロナ禍で何ができたのかという事例をあげ、埼玉大学の安藤先生に話をしていただく。

（2）公民館主催事業について

【事務局】

- ・男女共同参画セミナー「働くパパママ必見の講座！～これで育児と仕事の両立は大丈夫～」が先日終了した。次回の定例会で事業報告書を提出する。
- ・シニア講座「己書流基礎講座」は定員が20名のところ倍以上の申込みがあったため、今年度中に落選した方を対象に再度講座を実施することにした。
- ・趣味教養講座「ぐっすり眠ってみませんか。睡眠のためのカラダとココロの調整法を学びましょう」を12月3日から全2回、定員15名で開催する。
- ・歴史文化セミナー「妖怪にみる時代の変化」を12月3日から全4回、定員25名で開催する。
- ・東京都公民館連絡協議会研究大会について
基調講演を2021年2月10日からYouTubeで配信をする。この収録を12月18日午後2時から町田市生涯学習センターで行う。助言者は長澤成次氏である。
昭島市課題別集会「コロナ時代の公民館×SDGs～「誰も取り残さない」社会教育とは～」を12月19日午後2時から、公民館小ホールで行う。助言者は二ノ宮リムさち氏、事例報告者として「SDGsいたばしネットワーク」代表の加藤勉氏に来ていただく。

4, 小ホール特例的利用について

令和3年度5月分申請団体

申請団体 : 昭島シャントウーズ

今年度の特例的利用履歴がなく、他の団体の申請もないため承認

- ・実施日：令和3年5月22日（土）
- ・使用区分：午前、午後1、午後2
- ・内容：シャンソン、発表会

5, 答申について

【会長】

前期の答申は「これからの公民館事業の在り方、公民館事業の基本方針の見直しについて」という諮問に対する答申にする予定であったが、新型コロナウイルスの影響で公民館が閉館となり、審議を十分に行うことが出来なかった。その中で「コロナ禍での新しい生活様式に基づいた公民館事業の基本方針」について先が見えない状況ではあるが、申し送り事項として館長へ提出した。また、今期も前期の申し送り事項に基づき、答申を話し合っていきたい。

【委員】

学校では文部科学省が出しているガイダンスを元に昭島市教育委員会の支持を受けている。その中で、このような状況ならこうしてくださいという記載しかなく、先が見えない。

【委員】

文化協会では、夏ごろに今年中の活動は中止という報告があった。私は文化協会の美術部に所属しているが、年明け1月からの活動を再開する予定である。これはあくまでも予定なのでこれからの状況を見て判断していきたい。

【委員】

自治連の方でも厳しい状況である。歳末パトロールを毎年やっているが、密にならないように、最小限の人数で開催することになった。また、自治会で回覧を回しているが、メールでのやり取りを望む声やネット環境がないため回覧をそのまま続けてほしいといった声もあり、一枚岩では決められない現状である。

【委員】

民生委員の方では、緊急事態宣言が出されたときにすべての会議を中止した。私たちは5月から8月までの間に、70歳になられた方や外部からきた方への自治体調査を行っているが、緊急事態宣言が出されたため延期となった。7月から会議を少しずつ再開し始め、高齢者の方への自治体調査も12月から始める予定であったが中止となった。

【会長】

公民館は学習をする場であるが、なぜ学習をするのかという国際的な宣言があるので、学習権に関して副会長からレクチャーをしていただく。

それでは本日の定例会を修了する。次回は見学会も兼ねて、アキシマエンシスで定例会を行う。

※次回は12月11日（金）午後6時30分から アキシマエンシス

※次々回は1月15日（金）午後6時30分から